



毎月十五日発行
発行所
宗像大社
〒811-35 福岡県宗像郡五浦町
電話 0940-62-1311(代)
定価 一年送料共 1000円

神具・装束
結飾・用品
株式会社 井筒
福岡市博多区東公園二一三(一)号
電話 福岡(五)六六五一・九四五六
京都市下京区油小路六条八丁目500番
電話 三三三三・三三三三
電話 京都(三)三三三三・三三三三

沖津宮現地大祭斎行

天気晴朗なれども波高し



沖ノ島全景

明治三十八年五月二十七日、当社沖津宮鎮座の沖ノ島近海海上に於て、日本海軍の艦隊が行われた。東郷元帥率いる連合艦隊は、皇国の興隆をかけたこの戦いで、当時世界最強とされたロシアバルチック艦隊を退け、世界の国々から称賛の注目を集めた。この大戦を以て本年も玄界灘の真只中に浮かぶ沖ノ島で沖津宮現地大祭が斎行された。

沖ノ島は周囲約四km程で現在でも女人禁制という厳しい掟に守られており、島外には一木一草たりとも持ち出されてはならない神聖な島である。五月二十七日は年に一度唯一一般の方々が参拝出来る日でもあるが、この参拝にあたって年令、体力等厳正な審査が行われ、今年も信仰厚い人達が渡島参拝の幸運に恵まれた。

大祭前日の五月二十六日夕刻、夕焼けが玄海灘で光り輝く中、午後六時より大島中津宮にて渡島の無事を祈る青宮祭が斎行され、境内は大勢の参拝者で埋め尽くされた。

祭典に引き続き関係神職より渡島に関する諸注意が告げられ、兼父宮司の挨拶の後、各船ごとに再度渡島の確認を行った。

大祭当日早朝午前六時、全員が大島漁港に集合。海上は波が高く出港がややぶれたが、海上保安庁より出港許可が出され、灯台見廻船「げんくん」を先頭に多数の関係者が見送る中、大島の協力漁船七隻が波しぶきを上げながら勇壮に出港した。

天候は晴天に恵まれたものの波は高く、将日本海軍の戦当日を思わせるような出陣の意気込みが伝わった。

午前九時半、全船無事沖ノ島へ着島。全員直ちに海に入り海水浴の後、渡島を降りて清々しい気持ちで、強風の中原森林の覆い繁る参道を通り本殿へ向った。

午前十時、巨岩の立ちはだかる本殿にて多くの献品が供えられ、兼父宮司以下神職二人を奉仕の下、日本海軍戦に命を賭けて祖国の為に戦った人々の栄誉を称えた。

と共に、国家・皇室の安泰、国民の幸福と海上安全・漁業繁栄を祈る祝詞が朗々と奏された。

玉串拝礼では、宮司に引き続き沖・中両宮祭賛会副会長長西彰氏、小山達生氏、島の人となり、名残の尽きぬ沖ノ島を離島、帰途につく。

今年度の沖津宮現地大祭は、時化に見舞われ、船酔いした参拝者も見られた。しかし大変だった渡島を身体で実感して、古代の人々の大いなる精神力、信仰心そして偉大な志と多くの思いを残すことが出来たことであらう。

大島でも、久女の御建立の計画がある。久女は、しばしば中津宮に参拝し、数々の名を遺している。「くちすくすく、天の真奈井は葛隠り」久女は、先づ、岡部六弥太・平田美代共編の福岡県行歳時記を読んだ。全編三千句の中で、潮水と渡島と、の海胆洗」詩子が興味をひいた。大島は、初夏の大潮を運ぶウニ採りが解禁になる。採取されたウニを取り出し「小ジョウケ」に入れ海水に浸し、ウニ黄を取り精製して漁協に出荷する。過って真水の中で精製すると、ウニの固りは直ちに分解して失敗する。

作者は、余程ウニ製造に詳しくない人だと感じながら不意思ひ出した。作者の詩子さんの御主人は、大島中学校校長をされた占部金一先生であつた。そのせいか、いどう教えていくか、そのことをお互いにどうかと思ふようではな

ある沖ノ島の荘厳さと古代の神秘に魅了されたことであらう。

定刻、沖ノ島の幽玄な一時の余韻を胸に、又沖ノ島の御神水を手に一同船上の人となり、名残の尽きぬ沖ノ島を離島、帰途につく。

今年度の沖津宮現地大祭は、時化に見舞われ、船酔いした参拝者も見られた。しかし大変だった渡島を身体で実感して、古代の人々の大いなる精神力、信仰心そして偉大な志と多くの思いを残すことが出来たことであらう。

大島でも、久女の御建立の計画がある。久女は、しばしば中津宮に参拝し、数々の名を遺している。「くちすくすく、天の真奈井は葛隠り」久女は、先づ、岡部六弥太・平田美代共編の福岡県行歳時記を読んだ。全編三千句の中で、潮水と渡島と、の海胆洗」詩子が興味をひいた。大島は、初夏の大潮を運ぶウニ採りが解禁になる。採取されたウニを取り出し「小ジョウケ」に入れ海水に浸し、ウニ黄を取り精製して漁協に出荷する。過って真水の中で精製すると、ウニの固りは直ちに分解して失敗する。

作者は、余程ウニ製造に詳しくない人だと感じながら不意思ひ出した。作者の詩子さんの御主人は、大島中学校校長をされた占部金一先生であつた。そのせいか、いどう教えていくか、そのことをお互いにどうかと思ふようではな

英彦山の「杉田久女」の句碑移転の事が報道された。久女は、人形の家のノラにならずに満足せず自由奔放に生きていこうとし、ホトトギス派を破門された情熱の俳人であつた。英彦山と久女は、互に互いの想いをこめて、月を結び、兼父、の名句がある。兼父とは、英彦山神宮宮司高千穂有英氏の御母堂である。晩年初盆にお参りして、六十有余年を霊峰深山の孤独の中に耐えぬかれた兼父の生涯を苦しめた石壁に輝くその中に回想した。

大島でも、久女の御建立の計画がある。久女は、しばしば中津宮に参拝し、数々の名を遺している。「くちすくすく、天の真奈井は葛隠り」久女は、先づ、岡部六弥太・平田美代共編の福岡県行歳時記を読んだ。全編三千句の中で、潮水と渡島と、の海胆洗」詩子が興味をひいた。大島は、初夏の大潮を運ぶウニ採りが解禁になる。採取されたウニを取り出し「小ジョウケ」に入れ海水に浸し、ウニ黄を取り精製して漁協に出荷する。過って真水の中で精製すると、ウニの固りは直ちに分解して失敗する。

作者は、余程ウニ製造に詳しくない人だと感じながら不意思ひ出した。作者の詩子さんの御主人は、大島中学校校長をされた占部金一先生であつた。そのせいか、いどう教えていくか、そのことをお互いにどうかと思ふようではな

田 熊 驚頭か代日ざかりの牡丹の苑をめぐり来て花に疲れし人々に会ふ

(評) とりたてて養育するべきひととて母を一首全体に漲る真なる詩情を、見過不足のない表現、巧み

田 久 立花 勇雄市道地に決まりしわれの水田に点々と見ゆ赤き杭

(評) この人の歌には常に実直な人情が窺える。「杭」の一字が作品を生動させた。複雑な感動

八幡東 岡本 初音亡き母の十三回忌法要に母の形見の丹羽羽織を

(評) 亡母の体面を身に直かに感じている作者、悲しみというよりも懐かしさであらう。丹羽がよい。

香 椎 桜井 ツ子菊つくる家ありと夫の詠みたりと観世音寺への道をけふ人と行く

小倉北 松本 政子阿子寺はすでに日暮りこの寺に参詣つくる梵鐘響く

曲 曲 天野トモエこの草をのぞきて新になりし庭青と紫の菖蒲生え出づ

八幡東 江口 妙子散歩路ふと気がつけば黄の花を精一ばいにつけし母子草

福岡 清原 絹代無口な庭をさし出す手の平に病氣平癒のお守り

宮田 片山 朝子今日のは花々供えん庭に向日の空の下まぶしみて立つ

小倉北 横原 静子胃カメラの結果待ち居る狭き部屋開きし本のページ進まず

八幡西 川崎 ウラ夏本番となり七夕踊りに賑ふ「七夕踊り、星に願ひ顔を伏せ」岡部六弥太



余滴

第三五回 宗像大社歌会詠草 中村 吾郎 選

毎 月 末 日 切

大島 原 節子北へ帰るために集る鴨千羽小雨の岩壁に覗き声わく

吉 留 白木うめ暖かき冬を疊し白菜の花咲かきを暮に持ちゆく

名古星 野崎 傳三万緑の三輪の神女神楽の賑にびびり朝の展るける

深 田 中野 節子入浴の介助するナリスの身体度きびし長靴にビニールのスカートを穿く

田 熊 力丸 一郎待望の瀬戸の大橋渡りけり九十五才の友とがたりて

武 丸 立石ろせ方東より西へ一筋の飛行雲澄みて渡り夕空の中

徳 重 石松や母子高崎の子に返りける葡萄ハッポースチャロルの箱に水入れく

大島 屋形トミエ楠の若葉ゆくす潮風受け乍ら峠路をゆく心遊び

八幡東 大塚ミヤ子早起きて露をきく草抜けばとび出すみずすきとほりたり

滋 賀 岩瀬 辰夫波の音に夢は覚めたり懐き鐘の岬の追憶の宵

東 郷 藤崎 辰子田の道を掃りゆく子の自転車車が少し揺れたりふり向きしとき

自由ヶ丘 後藤 君代山藤の淡き紫左右に十三まがりの雨霧深し

津屋崎 花田 朝生春雨にたまる景色ながめつつ二階で楽しむバーベキューの会

福岡 広渡一寿軒太師餅作りし間に子遍路の喰うより眠る思ひのひととき

千葉、出光バルクターミナル(株)に 宗像神社建立



先頃、東京湾を見晴らす千葉市津田郡千葉の地に、宗像神社が建立され、当社より御分霊が奉遷された。これは、総合エネルギー会社を目指す出光興産(株)が、コルセンター用地に在る出光バルクターミナル(株)及び石炭研究室等の業務安全と事業の発展を願って建立されたものである。

同所は千葉臨海工業地帯の東京湾に面した一角に在り、約十坪の広大な用地を有しており、昭和六十一年十月出光バルクターミナルが営業を開始、本年四月石炭研究室が完成し、これに併せて神社の建立と神域の造成が行われた。社殿は当社本社殿の三分の一で基礎の高さ二米余、柱・銅板葺き流れ造り、高き一米五十、正面幅一米四十の社殿である。この宗像神社鎮座並びに鎮座奉祀祭奉仕のため、去る四月十四日太田綱直以下三名の神職が御分霊を奉持して上京、正午に袖ヶ浦の同社に到着。午後三時、赤銅色に輝く御霊根と白木の検道りの流麗な社殿に於て、洗済の儀が行われ、夕刻、新築の本館に於て仮殿祭、夜半仮殿出御の儀及び遷座の儀が斎行された。全その灯りが消され、浄閑の袖ヶ浦の神域には潮風が吹抜け、雅楽の笙の音が流れる中に御神慮は御殿奥深く奉安鎮座された。翌十五日、社殿の両脇に立てられた鮮やかな宗像神社の幟がはためき花盛りの中、午前十一時半、鎮座奉祀祭が厳粛に斎行され、出光興産(株)常務取締役伊藤正雄氏、同新燃料部石炭研究室長山田猛男氏、出光、バルクターミナル(株)代表取締役三浦氏を始め関係多数が参列され、玉串を捧げて事業の安全と発展が祈念された。

新人紹介



麻生真由美

平成元年四月一日付で巫女として宗像大社に奉仕することになりました。今年の春に学校生活と別れたばかりで、社会に出て初めての職業に巫女という職につけたことをとてもうれしく思います。

奉仕してそろそろ三ヶ月経ちますが、まだまだ失敗続きの毎日で、先輩の巫女さん達や神職さん達に迷惑ばかりかけています。これからいろいろな失敗

安部 三奈

四月一日付で巫女として奉仕し、約三ヶ月になりました。思っていたよりも難しく、とまどつこともたくさんあります。

私はお正月に巫女見習として奉仕させていただき、正式に宗像大社の



副島 順子

巫女としての職務を一日も早く覚えて、参拝者の方々一人一人に大切に出るべき、また何事も自分で出来るようになる巫女になりたいと思います。

今から先もまだまだ迷惑をおかけすることと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

折尾商業高等学校を卒業し、宗像大社に奉仕して約三ヶ月経ちました。その間、学校教育とは異なることを知り、社会の厳しさを知りました。

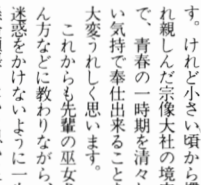


力丸 さなえ

今年の三月に東海大学第五高校を卒業し、四月一日から、氏神様宗像大社に巫女として奉仕することになりました。

宗像大社はすぐ近くで、幼い頃から境内で遊んだり何回も何回も参拝して

宗像大社に奉仕して、周りの方々の納得のいくように頑張りたいと思います。色々わからないことが多く、迷惑をかけることと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



小田 みどり

今年四月一日から巫女として奉仕しています。憧れていた巫女姿が、まだ何を月たちですが、まだ何を月たちに失敬ばかりで、先輩の巫女さんや神職さんに迷惑ばかりかけています。

研修では宗像大社についてや参拝者に対する応待

宗像大社に奉仕して、周りの方々の納得のいくように頑張りたいと思います。色々わからないことが多く、迷惑をかけることと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

「今、むなかたの心はひとつ」 各首長の公開討論開催

宗像地区の未来を語る、広域シンポジウム「今、むなかたの心はひとつ」が、五月七日(日)宗像市の宗像ユリックスで、約六百名の聴衆がホールを埋め尽くして開催された。

このシンポジウムは、(財)宗像青年会議所(理事長今村春彦・六十八名)が創立十五周年記念事業の一つとして開催したもので、先ず九州大学の矢田俊文教授が、福北都市圏と宗像」と題して、約三十分の基調講演をされ、続いて宗像市の各首長と青年会議所理事長の六名がパネラーとなり、矢田教授のコーディネートの下、熱い討論が行われた。

古来「神都宗像」といわれ、本来同一行政区域であるべき宗像が、現在宗像市と宗像郡の二つに別れ、しかも宗像郡内四つの町村がある為、地域住民のコン



宗像青年会議所創立15周年記念事業 今むなかたの心はひとつ

をせざるを得ず、微妙なニュアンスの違いはあったものの、大筋では意見の一致をみており、今後の宗像について問題提起となったことは確実である。

「むなかたはひとつ」と叫ばれ、宗像市郡の合併問題が持ち上がり、宗像市と宗像郡を一つにまとめることについて、各首長を一同に会しての公開討論は初めて、今迄より一歩前進したことは間違いない。しかし合併問題は行政単位だけの問題ではなく、地域住民サイドでも真剣に取り組むべき問題であらう。

三百名北部大都市圏構想や、安海(安海)リゾート構想と大型プロジェクトが目玉を賑わしている今日、私達の住む郷土の将来は如何にあるべきか、そのことを充分に考える必要があるのではないだろうか。宗像の歴史と伝統を正しく認識して、子孫に受け継ぎたいもの、宗像を伝えていきたいものである。

社務日誌抄

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|------------------------|------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|
| 五月一日 月次祭 | 五月二日 アジア太平洋博の日 協力の為神職一 | 五月三日 第六回春季奉納盆裁展開始(七日迄) | 五月四日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月五日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月六日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月七日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月八日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月九日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月十日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月十一日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月十二日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月十三日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月十四日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月十五日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月十六日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月十七日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月十八日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月十九日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月二十日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月二十一日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月二十二日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月二十三日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月二十四日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月二十五日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月二十六日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月二十七日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月二十八日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月二十九日 奉納子供相撲大会於浜 | 五月三十日 奉納子供相撲大会於浜 |
|----------|------------------------|------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|------------------|

宗像大社子会総代理

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 五月十一日 岐阜県大天田 | 五月十二日 岐阜県大天田 | 五月十三日 岐阜県大天田 | 五月十四日 岐阜県大天田 | 五月十五日 岐阜県大天田 | 五月十六日 岐阜県大天田 | 五月十七日 岐阜県大天田 | 五月十八日 岐阜県大天田 | 五月十九日 岐阜県大天田 | 五月二十日 岐阜県大天田 | 五月二十一日 岐阜県大天田 | 五月二十二日 岐阜県大天田 | 五月二十三日 岐阜県大天田 | 五月二十四日 岐阜県大天田 | 五月二十五日 岐阜県大天田 | 五月二十六日 岐阜県大天田 | 五月二十七日 岐阜県大天田 | 五月二十八日 岐阜県大天田 | 五月二十九日 岐阜県大天田 | 五月三十日 岐阜県大天田 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|

